

5月18日(日)拡大統一行動に11民商70名が行動!

春日井民商は12名の参加で共済・婦人・青年各1の拡大

春日井民商だより

春日井市こぶき町一八三
☎八一一一四八二
FAX 八一一九七五六



5月18日(日)、4月に引き続き愛商連の呼びかけで全県の拡大統一行動が行われました。当日は12名が参加し会員訪問や電話での声掛けを行いました。

午前中だけで、青年部1名、婦人部1名、共済1名の拡大に成功。拡大行動にはずみをつけました。

午後からは「オンライン交流会」に参加。9民商が、参加し運動に対する取り組みなどを報告しあいました。

参加した会員からは「同じ支部の方と会う約束もできたのでまめに連絡を取るなどが必要と感じた」などの感想も聞かれました。最後に小松拡大推進委員長から「15ポイントの目標達成にむけて頑張っていきたい」との声掛けがなされ拡大統一行動は終了しましたが、会員・読者の輪はまだまだ広げていきたいと思っています。組織拡大に皆さんのご協力をお願いします。

春日井民商婦人部総会が開かれました

5月17日(土)13時からグリーンパレス春日井で第44回春日井民商婦人部総会が開催され16名が参加しました。

新地副部長の開会の挨拶からはじまり、愛婦協会会長からのメッセージが紹介されました。その後、まとめと方針案、決算・予算案が採択され新役員が承認されました。

今年も婦人部長が不在と



なりましたが、新しく会計に南支部の西玲子さんが選出されました。新役員の挨拶では「今年一年役員全員で頑張ります。婦人部全体を盛上げていきたいと思うのでご協力よろしくお願いします」と渡辺副部長の挨拶があり「若い人にも、もっと婦人部に参加してもらいたい。一生懸命活動していきましょう」と宇留島副部長の挨拶で総会は終了しました。

倉敷民商弾圧事件全国連絡会総会開かれる

5月18日(日)に岡山国際交流センターで開催された倉敷民商弾圧事件の勝利をめざす全国連絡会第9回総会に参加しました。

総会は全商連の小林さんと岡山の会の花田さんの司会で始まり、はじめに代表委員である太田義郎全商連会長が挨拶を行いました。

次に今回の総会の中心である弁護士からの報告が行われました。

はじめに岡邑弁護士事務局長が倉敷事件の経過と現段階について報告。5月14日の公判から弁護側の立証が始まったこと、裁判所は検察から証拠請求のあった「証拠」について提示命令を出して「伝聞例外」として証拠採用するかの検討を行っていること。今後この二つのことがすすんでいくと話されました。(この二つのうちどちらかを先行させるのか同時にすすめるかは不明)

続いて、5月14日の弁護側の冒頭陳述もふまえて清水、谷、山本、千田、原田、則武の順で弁護団から発言がありました。

とくに原田弁護士が「検察請求の証拠について裁判所が証拠として認めないとしたら検察はそれらを証拠とするために新たに証人申請してくるか

もしれない。そんなことは許されない」「検察から捜査官の尋問時間の延長が請求されたとき法廷外の声もあり裁判所はこれを認めなかった」「裁判所が証拠採用や裁判の進行について正しい判断をするように法廷外の声を届けて裁判官を激励することも大切」と発言されたのが印象に残りました。

ここで禰屋さんが裁判所と検察に「リクルート事件も一審が長かったが300回をこえる公判が行われた。私は長いけど公判は数えるくらいじゃない」と怒りを込めて支援を訴えました。続いて救援会中央本部の鈴木さんから議案の提案と会計報告が行われ、愛知のオルグ活動にも触れられました。

討論では琵琶湖一周宣伝を続けている滋賀県の取り組みをはじめ徳島と福岡の代表が発言しました。

議案を採択した後、倉敷民商支える会の末田さんが閉会の挨拶。参加者全員で「団結ガンバロー」と総会が閉められました。(事務局長 星野)



支援を訴える禰屋町子さん

春日井民主商工会第59回定期総会

共済会第33回定期総会

とき 7月11日(金) 午後7時～

ところ グリーンパレス春日井101会議室

総会は代議員制で実施しますが、会員は誰でも評議員として参加できます。婦人部員の参加も大歓迎。今から予定を空けて、多くの皆さんの参加をお願いします。

毎月15日までの会費集金にご協力をお願いします

会計

山崎孝亀